

# テーマのある旅

## FAQ よくある質問



「テーマのある旅」の特徴は、普通の観光旅行では行かないところを訪れたり、視察できたりというのがまず一番。そして参加者のほとんどが大学生と院生&時には大学の先生もツアーメイトとして加わることもあるという、まさに大学生活の思い出に残る旅です。

よくあるご質問(FAQ)をまとめました。不明な点がありましたらいつでも大学生協にお問い合わせください。(NO119のコースは、最少催行人数が1名のため個人旅行型になります。)

### Q.1人参加なので、みんなと仲良くなれるか心配です。

**A 9割近くの方が1人参加&「相部屋」を申し込みます。**  
「テーマのある旅」全体では9割近くの方が1人参加です。(出発日・コースにもよります。)共通の興味や関心のある1人参加者同士が集まるのですぐに打ち解けたという声がよく聞かれます。1人参加でも「他の大学生との相部屋」を選べるコースが多いというのも一般のツアーと比べると珍しいかもしれません。(期日前の申込なら1人部屋追加料金もかかりません。)積極的に行動して帰国後も交流が続くような仲間を見つけてください。(友人参加ももちろん受付中です。)



### Q.男女の割合はどうですか?

#### A 女性の方が多い…かな?

コース・出発日によりますが、保育や子どもとの触れ合いのツアーが多いこともあり全体的には女性が多いです。ただ「テーマのある旅」は参加者同士で共通の「テーマ」への関心があるので、少ない方の性別の方でも気にならなかったという声はよく聞かれます。

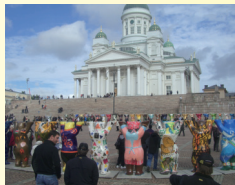


2011年

## 春の体験談が届きました!

### 2011年3月 フィンランド教育視察研修ツアー 千葉大学 2年 三神山 英美さん

研修全体を通じて感じたのは、フィンランドでは教育や子どもが社会全体の中で価値のあるものだと考えられているということです。それが教育の機会の平等や1人1人のニーズに応じた教育制度につながっており、子どもが個性を生かしながらのびのびと成長できる環境を生み出していると感じました。フィンランドから帰国した今、将来教育に携わりたいという思いが確信に変わっています。日本を離れて、感じることや、学ぶことがたくさんありました。この旅で学んだことを活かして、今後も学び続けたいと思います。



### 2011年2月 オランダ教育福祉視察研修参加 愛知教育大学 2年 原田 理沙さん

初海外でも、一人参加でも大丈夫です!初の海外で一人参加・申し込む前はとても悩みました。しかし研修内容に関心があり、大学生のうちしか経験できないことを考慮して思い切って参加を決めました。実際に参加してみると同じ問題意識を持った学生が集まっていて、研修内容はもちろん、メンバーからも色々な刺激を受けました。また事前に何冊か本を読んでいましたが、実際に見聞きすることで、具体的な様子を知り、さらにこれから追求していきたいと思えました。これからはつながる良い研修となったと思います。



### 2011年3月 アジアピーススタディツアー 同志社大学 2年 町屋 智洋さん

学生交流ができることと日程がちょうど良かったことからこのツアーを選びました。初めは1人で不安もありましたが、いざ行ってみると参加者のほとんどが1人参加、かつ様々な地域・大学から来られていたので、とても楽しく過ごすことができました。また、この旅はベトナム・カンボジアと2カ国を周れることも魅力の1つでした。初めて会った人たちと一緒に異文化を体験することで今まで感じたことのない世界観を経験することができとても素晴らしい旅だったと思います。



### 2011年3月 近畿大学 2年 M.K.さん

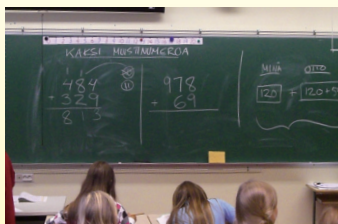
どうしてユダヤ人はこんなにも悲惨な運命を歩まなければならなかったのか。実際にアウシュビッツを訪れてみると更に疑問が膨れ上がった。想像をはるかに超える数多くの方々がここで命を落とした。その現実が信じられなかった。目の前の死という現実に向きつめられた人々が抵抗もなしに殺されていく。何も罪のないのに受け入れざるを得なかった不幸な現実。それを目の前にし、私は悲しくてたまらなかった。戦争は本当に「負」しか生み出さない。このような出来事を繰り返さない為にも、歴史を知る必要がある。



## Q.参加資格はありますか？

**A 組合員の方でしたらどのコースでも参加いただけます。**

特に断りのない限り、参加資格があるコースはありません。専攻学部に関係なくご参加いただけます。スタディーツアーでは参考図書が案内されるため、事前に何冊かは目を通しておきましょう。



## Q.1人参加ですが食事はどうすればいいですか？

**A 迷ったらみんなで食べに行きましょう！**

折角海外に行くのですからその土地の料理をみんなで分け合って食べましょう！（よほどの高級レストランでなければシェアして食べるのも旅の楽しみです。）食事が付いていないコースの場合は、現地コーディネータやガイドさんから美味しいお店を聞きだしましょう！



## Q.春のコースでキャンセル待ちと言われました。いつまでに申し込みれば間に合いますか？

**A 定員があり申込順に受け付けています。**

「テーマのある旅」は、現地での視察・活動を充実させるため最大定員を10名～20名程度に限定しているコースがあります。この春の例では出発の60日以上前に満席になったコースもありました。夏は込み合いますのでどうしても参加したいコースがある場合は早目の申込をお勧めいたします。気になるコースがあれば、まずお問い合わせください。大学生協旅行カウンターまたはメール(pkg@univcoop.com)でもご相談受付中です。



## Q.わからないことがいろいろあるのですが？

**A 交流会・説明会・生協カウンター・e-mailなどでお答えいたします！**

P2・3の「テーマのある旅」交流会・説明会・キャンパス相談会では、いろいろなツアーの説明をします。過去のツアー参加者がサポーターとして駆けつけてくださる場合もあります。この夏に参加する予定でなくても、「テーマのある旅」が気になったらお気軽にご参加ください。（実際「テーマのある旅」は検討後半年～1年後にご参加される方も多いです。）またキャンパスの生協旅行カウンターやe-mail(pkg@univcoop.com)でもご相談受付中です。



### 2011年2月26日 ボルネオ・エコツアー 京都教育大学 教育学部3年 福嶋 大智さん

ジャングルに行ける。民族にホームステイができる。私がこの旅に参加した理由はその2つの言葉にわくわくしたからだ。同時に環境問題についても興味があった。経済と自然保護の裏表側面、罪のない動物たちの住み家が奪われ、動物たちの個体数が減ってきているという事実。中でも特に、自然のもつ力を旅の中で感じた。穏やかな時のジャングルは時間がゆっくりと流れ、優しい気持ちで過ごさせてくれた。一方で天候が荒れた時は、恐怖さえ感じるほどだった。その中で、人と人とのつながりを大切にしているダガット村の人たちは、家族の垣根を越えてつながり合い、怖い気持ちをやわらげてくれた。人の温かさ、人の良さを改めて感じさせてくれる旅だった。



### 2011年3月6日 ネパール医療スタディーツアー 東京理科大学 大学院薬学研究科2年 T.O.さん

インターネットで色々な情報が手に入るが、やはり百聞は一見にしかずであった。このネパールの旅に参加して良かったと本当に思う。経済発展の遅れや人々の意識の差のためか、日本医療事情と全く違う保険制度のなさや、清潔感のなさ、患者主権の意識の欠如など……。いかに今までの生活が恵まれていたかわかった。ただ人々は皆あたたかく、世話焼きでとても心にしみた。



### 2011年2月24日 カンボジアスタディーツアー F大学 教育学部2年 R.M.さん

カンボジアはのんびりとしていて、人はみんな優しく、フレンドリーで、人生の休憩をしてきたような気分です。たった1週間でしたが、その中でたくさんのお出逢いがあり、多くの経験をし、自分は何でちっぽけなのだ自分を見つめ、視野を広げる良い機会となりました。実際に自分の眼で見ることで、偏見に気づき世界観まで広げることができたように思います。そして、少し心が広くなったような気がします。素敵な出会いに感謝します。



### 2011年2月24日「持続可能な島」フィリピン・カオハガン島 早稲田大学 政治経済学部1年 大杉 英里子さん

「幸せ」について真剣に考えさせられる旅だった。仲良くなった子どもに「Are you happy?」と聞かれた。この島の子どもたちは笑顔が絶えず、遊びの天才。いつも100% happyな毎日を送っているんだなと感じた。幸せとはなんだろうと考えた7日間。旅の終わりに出した答えは「帰る場所がある」ということ。島から帰る日、崎山さんは「さよなら」ではなく「行ってらっしゃい」と言った。自分を待っている人がいること、自分がもう一度踏みみたい地があること、自分が愛する「帰る場所」があることが、自分にとっての幸せなんだと思った。島の子も達は誰もがカオハガンを愛していた。忙しい時間を過ごす私たちは、土地や人を愛することを忘れてしまったのかもしれない。この世で一番大切なことだと思う。いつかまたカオハガンを訪れた時、「ただいま！私、幸せだよ」と叫ぶことができるように、「何でもある島」での生活を考え直し、私たちが忘れかけていたものを大事にしていこうと思う。

